

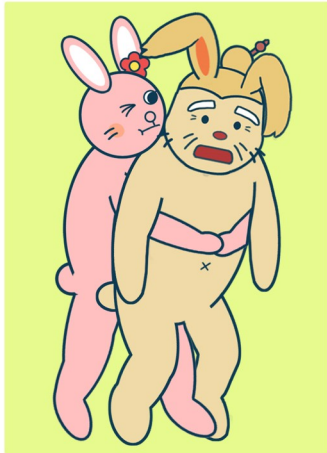
3 気道異物の除去

□やのどなどに異物が詰まっている場合に、取り除く方法

傷病者に反応がある場合

- 傷病者に「のどが詰まったの？」と尋ね、（声が出せず）うなずくようであれば窒息と判断します。
- ただちに119番通報を依頼するとともに、以下の2通りの方法を数回繰り返し、異物が取れるか、傷病者の反応がなくなるまで試みます。
 - 咳をすることが可能であれば、咳を続けさせます。咳ができれば、異物除去に最も効果的です。

1 腹部突き上げ法

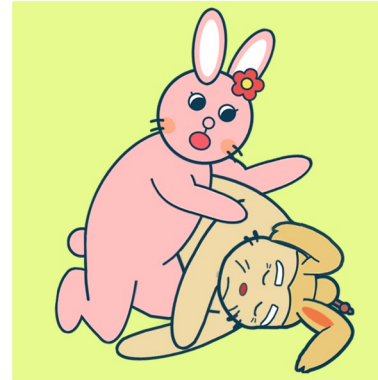


- 傷病者を後ろから抱えるように腕を回します。
- 片手で握りこぶしをつくり、その手を傷病者のヘソより上、みぞおちより下に当てます。
- もう片方の手で、握りこぶしを包み素早く手前上方に圧迫するように突き上げます。

握りこぶしを作った手の親指は、中に入れて、外に出しましょう。



2 背部叩打法

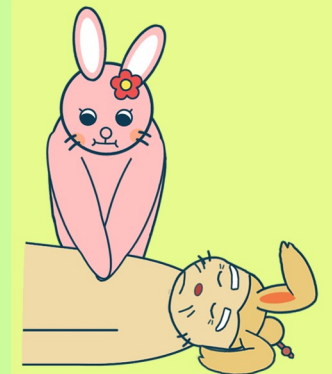


- 背中を叩きやすいように傷病者の横に回ります。
- 手の付け根で肩甲骨の間を力強く、連続して叩きます。

傷病者に反応がない場合

傷病者がぐったりして反応がなくなった場合は、心肺蘇生の手順を開始します。

- まだ通報していなければ、119番通報を行いAEDを手配します。
- 心肺蘇生を開始します。
- 心肺蘇生を行っている途中で、口の中に異物が見えた場合は、異物を取り除きます。
- 見えない場合は、やみくもに指を入れて探らないでください。また、異物を探すのに時間を費やし胸骨圧迫を長く中断しないでください。



ポイント 異物が取れた後は？

- 腹部突き上げ法を行った場合は、119番通報前に異物が取れても、腹部の内臓をいためている可能性があるため、医師の診察を受けて下さい。
- 明らかに妊娠している女性や高度の肥満者には腹部突き上げ法は行いません。背部叩打法のみ行います。
- どちらか一方を行っても効果のない場合は、もう一方を試みます。